

東京都医学総合研究所 人対象研究に係る公開事項

研究課題	名称	各種遺伝子変異等の分子生物学的異常が脊椎関連疾患に及ぼす影響に関する臨床的研究（脊椎変性疾患の遺伝子等の解析に関する研究）
	目的	本研究の目的はGWASを施行して、腰部脊柱管狭窄症を始めとする脊椎変性疾患の可能性のある遺伝子多型を検出することである。腰椎変性疾患は体重や生活様式など後天的な要因も発症要因の一つと考えられるが、遺伝子異常の関与が疑われる病態も存在する。まずは、GWASにより各疾患関連SNPを同定することを目的とする。得られた結果によって、後天的な問題より先天的な問題が強く疑われる症例に対しては、例えば手術当該以外の椎間にかかる負担を考慮し、後療法をより慎重にするなどのこれまでと異なる新たな対策方法が考えられる。また、腰椎変性疾患のSNPが判明すれば、これらの遺伝子をもった患者に対して、発症を遅らせるためのリハビリテーションを初めとした予防療法を確立できる可能性がある。 また、ヘルニアとなった髄核組織、肥大した黄色靱帯のマイクロアレイなどによる発現解析、タンパク質の解析を行い、上記で発見された腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄のSNPと関連したmRNAの発現変化、タンパク質の異常を確認する。またこれらの疾患は遺伝子異常だけでなく、後天的な要因によっても引き起こされると考えられるため、マイクロアレイによって異常なmRNAの変化、プロテオーム解析によって異常タンパクを検出し、原因を特定する。
	実施期間	2025年4月1日から2029年12月31日まで
研究責任者 （試料・情報の管理責任者）	職・氏名	東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト 参事研究員 池田 和隆
	連絡先	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 Tel：03-5316-3100 E-mail：ikedakz@igakuken.or.jp
研究対象者		・2020年4月1～2025年3月31日までに、稲波脊椎・関節病院または岩井整形外科病院において、全身麻酔下で腰椎変性疾患に対して腰椎内視鏡下手術（内視鏡下椎間板ヘルニア摘出術：MED、内視鏡下後方進入腰椎椎体間固定術：ME-PLIFなど）を受け、本研究への協力に文書により同意した20歳以上の患者 ・既に倫理承認を受けている22-10「遺伝子多型が疼痛個人差に及ぼす影響に関する研究」において、あらかじめ研究趣旨に同意した15歳以上の健康かつ薬物常用歴のない日本人ボランティア
試料・情報	取得の方法	各研究課題において、上記選定基準該当者を対象として文書同意を取得した。
	利用目的及び利用方法	利用目的：データ解析 利用方法：DNAサンプルを用いて同定された単塩基多型（SNP）等バリエーションと臨床データ情報との関連性の解析
試料・情報の他機関への提供の有無		あり ・ なし
「あり」の場合：機関の名称及びその長の氏名）		国立精神・神経医療研究センター（精神保健研究所） 張 賢徳
利用し、又は提供する試料・情報の項目		試料の項目：DNAサンプルを用いて同定されたバリエーションの遺伝子型データ 情報の項目：腰部脊柱管狭窄症を始めとする脊椎変性疾患等関連データ情報
利用する者の範囲	研究機関	東京都医学総合研究所
	研究責任者	池田 和隆
	研究機関	岩井整形外科病院／稲波脊椎・関節病院
	研究責任者	岩井 宏樹
	研究機関	国立精神・神経医療研究センター
	研究責任者	西澤 大輔
利用又は提供の停止		研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料情報の利用又は他の研究機関への提供を停止します。
（受付方法）	郵送	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト 参事研究員 池田 和隆
	メール送信	ikedakz@igakuken.or.jp
	研究所窓口	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所
	電話	03-5316-3100
研究計画書等の入手又は閲覧		研究対象者又はその代理人の方は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。
（入手・閲覧の方法）		上記（受付方法）に記載の各連絡先へご相談ください。
個人情報の開示手続及び手数料の額		「公益財団法人東京都医学総合研究所個人情報の保護に関する規程」の定めるところによります。
研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応		本課題の研究責任者（池田 和隆）あてお問合せください。